



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

1月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



鷹野 太馳くん 富中
探検が大好きです。にこにこ笑顔で家族のみんなを癒やすぞ！



山本 せいやくん 上村
好奇心旺盛な、おうちのハイハイ探検隊長のせいやくんです☆



嶋屋 瑛心くん 内子3
『とれたんず』が大好きです！僕も新幹線に乗ってみたいな♪



徳本 莉羽ちゃん 富長
早くお姉ちゃんたちと一緒に遊べるようになりたいな♡



INSTAGRAM \ みんなが見つけた /
内子のいいところ「うちコト」

今回は「#うちコト」を付けて投稿してくれた中から、冬の始まりを感じる風景を3つ紹介します。



breathofnature_jさん
亀井地区から撮影。どこまでも続く雲海と青空の景色に癒やされます。



uchikobareさん
古民家ゲストハウス「内子晴れ」の干し柿。町並みの景色とよく似合います。



noah.123456yaさん
濃紺の空に輝く、上川地区・薬師堂の大イチョウ。一夜限りのライトアップです。

「うちコト」では内子の日常や暮らし、風景など内子のコトを発信中です。皆さんもInstagramの投稿に「#うちコト」を付けて内子町の魅力を発信してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ
ぜひ、フォローしてみてね！
QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



FROM ME TO YOU



みんなでつないでリレーエッセイ



「電波に乗せた
出会いと絆」

大程 寿博さん(48)
〓程内〓

私の趣味の一つにアマチュア無線があります。小学5年生の時、父のすすめで免許を取りました。当時はまだインターネットや携帯電話もなく、アマチュア無線で多くの人が交信を楽しむ時代でした。試験勉強は難しく感じましたが、合格した時の喜びは忘れられません。

アンテナを立てて遠くの人と声がつながった瞬間は、子ども心に大きな感動を覚えしました。高校ではアマチュア無線部に所属し、仲間とアンテナを設置したり、交信コンテストに参加したりしました。上級免許も取得し、日本だけでなく海外の人ともモース信号で交信し、国境を越えて人と人がつながる喜びを体験しました。

社会人になって長距離トラックスのドライバーをしてい

た頃は、アマチュア無線が大きな助けになりました。日本全国の仲間から渋滞情報や道案内、ご当地のおすすめなどを教えてもらい、心強い支えとなりました。無線を通じて交わされる温かい言葉は、見えない絆のように感じられました。

今ではスマートフォンやSNSで簡単に世界とつながることができますが、電波を使った交信にはアナログの楽しさと人の温かさがあります。災害時にはライフラインとして役立つ可能性もあり、趣味でありながら地域に貢献できる力を秘めています。この趣味をこれからも大切にしたい、仲間や世界の人々との交流を楽しんでいきたいです。

監修 内子町食生活改善推進協議会

／今月の食改さん／



村田 恵子さん
＝内子18第2＝

●材料(4人分)

カブ2個／カブの葉50g／カボチャ120g／玉ネギ1/2個／ベーコン2枚／コンソメ小さじ1／水200ml／④牛乳200ml、みそ小さじ1、塩小さじ1

●作り方

- ①カブとカボチャは乱切り、玉ネギは千切り、カブの葉はざく切り、ベーコンは1cm幅に切る。
- ②鍋に①と水、コンソメを入れ、ふたをして中火で煮る。
- ③具がやわらかくなったら④を入れ、沸騰する直前に火を止める。
- ④器に盛り付けて完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH

「カブとカボチャのスープ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」1月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①将来に備え、一生涯受け取れる「○○○○○●○○○」の加入検討を
- ②内子町「○○○●○○○○○○○○○」を1月19日に開催します
- ③内子を描こう「○○●○○」の審査が行われ、各部門受賞者が決定
- ④人形「●○○○○」文楽の魅力を味わう「内子The文楽」が行われました
- ⑤冬の入浴は、「○○○○●○○」に注意してください
- ⑥図書情報館で「○○○○○○○○●○○○」を開催。町内小・中学生の作品を展示しています

応募方法：ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛先：〒795-0392
内子町平岡甲168番地 内子町役場 企画情報課 広報・広聴係
締め切り：1月31日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」3月号

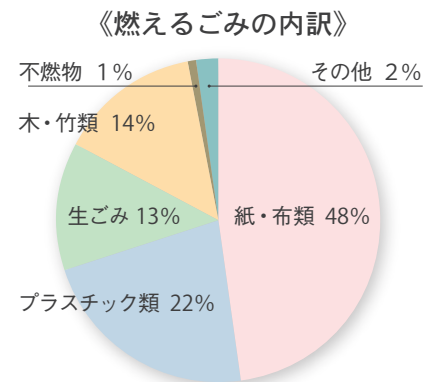
● 11月号当選者の皆さん

答え「しちごさん」 正解数20
 ・武智 幸雄さん（内子10）
 ・松田 幸子さん（宿茂）
 ・富永 忠雄さん（護国）
 ・岡田 吉恵さん（上村）
 ・西岡 玲子さん（妙見町）
 ・松田 敏江さん（寺成）
 ・吉川かえこさん（上川中央）
 ・大野 静子さん（松山市）
 ・北野 広郷さん（愛知県）
 ・外木 久さん（神奈川県）

6年度に内子町で出たごみの量は3974ト、処理にかかった費用は約3億8000万円でした。これは町民一人が1年間に約270結のごみを出し、約2万3000円を負担していることとなります。

くらしのエコロジー

正しく分別して
ごみを削減・再利用



ごみの8割を占めるのは「燃えるごみ」です。内訳を調べると、約半分は紙・布類で、その中には菓子箱やメモ用紙など、分別すれば「古紙」としてリサイクルできるものが多く含まれます。

※分別方法など、詳細はホームページでご確認ください。
【問い合わせ】
 環境政策室
 ☎0893(44)6159



小さな紙類は紙袋にまとめ、口を縛って出しましょう

ごみを再利用すれば、CO₂も、処理費用も削減できます。分別方法を今一度確認し、資源の有効活用に取り組みましょう。

「大事な人を守りたい」11歳の防災士誕生

上宮 琴音さん（天神小学校5年）＝岡第2＝

11歳の上宮琴音さんは昨年11月、地域防災の担い手である防災士の試験に合格しました。内子町では最年少の防災士です。

琴音さんが防災士になったきっかけは、母の英美さんの影響です。家族のために水や非常食を備蓄する姿に、「自分も大事な人を守る人になりたいと思った」と声を弾ませます。能登半島地震の発災時には、玄関まで走ってドアを開け、家族の避難経路を守ろうとした琴音さん。英美さんは「大人顔負けの行動で、親ながら感心した」と目を細めます。琴音さんは「テレビで見る地震の光景は怖くて、こっちまで揺れるかと思うと、体が動いていた」と振り返ります。

試験では1カ月前から猛勉強を開始。370ページもある教本を何度も読み込みました。防災士になってからも、家では防災グッズの準備を手伝い、地域では防災訓練に参加するなど、熱心な琴音さん。「母からは『一人では生きていけない』とよく言われている。人とのつながりを大事にし、いざというとき、みんなから頼られる防災士になりたい」と目を輝かせました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

心に残る徳島の旅

10月に2日間かけて徳島県を旅行しました。特に印象的だったのは1日目の藍染め体験です。徳島は古くから藍の産地として知られています。体験では無地の布にビー玉を並べて輪ゴムで包み、染料に浸して染め上げます。完成したのは藍色と白の美しいスカーフ。すてきに仕上がり、大のお気に入りです。そして何より心に残ったのは、案内してくれた地元の人たちの郷土愛。藍染めの服を着て、楽しそうに自分たちの文化を伝える姿に、地域の伝統を誇りに思う気持ちが伝わってきました。

2日目は名頃地区にある「かかしの里」へ向かいました。人口減少が進む中、住民の一人がまちの人々に似せたかかしを作り続けた

ことで、テレビやSNSで世界的に知られるようになった集落です。私もドイツにいた頃、テレビでこの地域を知り、いつか訪れたいと思っていました。集落を訪ねるとあちこちに等身大のかかしが並び、農作業をしていたり、井戸端会議をしていたりと、ユーモアあふれる姿で出迎えてくれます。実際に見ることができて感動しました。その一方で、住民よりも人形の数の方が多くなってしまった光景に、地域が抱える過疎の課題についても考えさせられました。

この旅を通して、日本の地方には魅力的な場所がたくさんあるのだと改めて感じました。いろいろな地域を訪れ、まだ知らない日本の文化に触れていきたいです。



「かかしの里」で撮影した一枚



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

国際交流員

シュテファン・アイヒンガー

Stefan Eichinger



VOICE

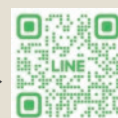
まちの声

内子町公式LINEで発信される情報を知りたい

□内子町の公式LINEではどのような情報を配信していますか。（20代男性）
 ■皆さんの暮らしに役立つ情報をお知らせしています。イベント情報や広報紙の配信、ごみ収集日も通知します。災害など緊急性の高い情報

は登録者全員に配信しますので、ぜひご登録ください。

内子町公式LINE登録はこちらから▶



【問い合わせ】

企画情報課 広報・広聴係
 ☎0893(44)6151